

学校長から 10月6日号

10月6日（金）で前期が終わりました。4月の入学、進学から6か月。子どもたちの成長を感じることができた日々でした。本校の学校教育目標は「自らがやくときわの子」～一人ひとりが輝く存在に～です。本年度は、一人ひとりが相手意識をもつことができるような、教育活動を行っています。行事やたてわり活動はもちろんのこと、毎日の授業にもそういった活動を多く取り入れるようにしてきました。特に、自分の考えを隣同士や小グループのなかで伝え合い、話し合うことを行ってきました。これからも、日頃から、相手について意識する学習環境を充実させ、学校教育目標の実現に向かって進んでいきたいと思っています。

最後に、前期のあゆみについてです。懇談会での各担任の説明の通り、学習については観点別の3段階評価、行動については、十分満足な場合に○を付けています。そして、前期のあゆみには、所見がありません。子どもたちのがんばってきたところは、子どもたちには、あゆみを渡すときに直接声をかけています。また、保護者の皆様には、7月の個人面談で説明したり、子どもたちの成長を綴っているパスポートやノート、プリントに記しています。前期の振り返りを生かし、子どもたちが具体的なめあてを立てていくことで、後期の学校生活をより充実していくものにしていくようこれからも指導をしていきたいと思っています。（10月6日 学校長）